

参加費
3,000円
宿泊・食料
※保険料等は
別途徴収



◎ボランティアについて漠然とした印象しかなかったが、子供たちに何をすればよいかなど学ぶことができたので、充実した2日間だった。

◎人間として成長できた。今回学んだことを今後の学生生活はもちろん、社会に出てからも活かしていきたい。
(昨年度の感想より)

申込はこちら→
※5/15 (金)
17:00締切
※人数が多い場合、
抽選を行います。



国立青少年教育施設ボランティア養成講座

子どもと関わる！体験**ボラン**ティアセミナー

2026.6.6**土**～6.7**日**

本事業に参加された方は、国立青少年教振興機構ボランティアとして登録することができます。登録された方は、国立大洲青少年交流の家をはじめ、全国28か所の国立の青少年教育施設（青少年交流の家、青少年自然の家、オリンピックセンター）でボランティア活動を行うことができますようになります。



当日はJR松山駅、JR伊予大洲駅↔大洲青少年交流の家で送迎バスを準備します。

子供と**成長**したい… **仲間**を増やしたい… 何かに**夢中**になりたい… そんな方**大歓迎**！



みんなでアウトドア
カヌー編



体験
フェスティバル



冬のわくわくサイエンス



ボランティア
フォローアップ研修



通学合宿

詳細・お申し込みはホームページをご覧ください。ご不明な点がございましたら、お電話ください。

【お問い合わせ】

国立大洲青少年交流の家
〒795-0001 大洲市北只1086
TEL 0893-24-5176 受付時間：9:00～17:00



ホームページはこちら→



令和8年度 国立大洲青少年交流の家教育事業 青少年教育施設ボランティア養成講座 子どもと関わる!体験ボランティアセミナー 開催要項

- 1 ねらい 国立大洲青少年交流の家が主催する教育事業や研修支援等の運営協力・指導補助などを担うボランティア人材を育成するとともに、青少年教育及び人材育成の観点から、地域社会へ貢献しようとする人材の育成を図る。
- 2 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
- 3 後援 愛媛県教育委員会（予定）・大州市教育委員会（予定）・愛媛新聞社（予定）
- 4 期日 令和8年6月6日（土）～6月7日（日）【1泊2日】
※ 本事業を受講すると、全国の国立青少年交流の家、国立青少年自然の家でのボランティア活動に必要な「法人ボランティア」への登録が可能となります。
- 5 場所 国立大洲青少年交流の家（愛媛県大州市）
- 6 対象 子どもと関わるボランティアや体験活動に興味・関心のある高校生、大学生、専門学校生、社会人等の青少年（29歳以下）
※ 高校生は保護者の承諾が必要です。申込確定後に、保護者承諾書を送付します。

- 7 募集人数 35名程度
- 8 講師 松山東雲短期大学 教授 市河 勉 氏
愛媛ボランティア学習研究会 事務局長 柴崎 あい 氏
大洲地区広域消防事務組合 大洲消防署員 職員
国立大洲青少年交流の家
- 9 参加費 3,000円（内訳：朝食620円、昼食820円×2、夕食（野外炊飯）700円、雑費40円）
※保険料350円、湯茶代250円を別途徴収します。

- 10 日程
- 6月7日（日）
- 6:30- 8:30 起床・つどい・朝食・退所点検
- 8:30- 9:45 受付
9:45-10:45 開講式
9:45-10:45 [講義・演習]はじめてのアイズブレイク
11:00-12:30 [講義]子どもたちに必要な体験とは？
12:30-13:30 昼食・休憩
13:30-14:30 [講義・演習]自然体験活動の安全管理
14:45-16:15 [講義]ボランティア活動の意義
16:15-17:00 [講義]ボランティア活動の意義
17:00-17:15 休憩・ベッドメイキング
17:00-17:15 タベのつどい
17:20-18:20 [講義]野外炊飯におけるKYT
18:20-20:20 [演習]野外炊飯（カレー）
20:20-21:30 入浴・休憩
21:30-22:30 自由時間・就寝準備
22:30 就寝


II 内容

- (1) [講義・演習] はじめてのアイズブレイク（ボランティア活動の旗）：松山東雲短期大学 教授 市河 勉 氏
初対面の参加者の心の緊張を解きほぐし、活動しやすい雰囲気作りの手法を体験的に学びます。
- (2) [講義] 子どもたちに必要な体験とは？（青少年教育）：松山東雲短期大学 教授 市河 勉 氏
今日の青少年教育の課題や、発達段階に応じた体験活動の必要性について学びます。
- (3) [講義・演習] 自然体験活動の安全管理（仮管理）：大洲地区広域消防事務組合 大洲消防署員
普通救命講習に加え、自然体験活動の指導に必要な応急処置の知識・技術を学びます。
- (4) [講義] ボランティア活動の意義：愛媛ボランティア学習研究会 事務局長 柴崎 あい 氏
ボランティア活動の意義、ボランティア活動における心構えや留意点を学びます。
- (5) [講義・演習] 野外炊飯におけるKYT（仮管理）・野外炊飯（構え）：大洲青少年交流の家職員
野外炊飯における指導の技術・安全管理の方法を学びます。
- (6) [講義・演習] 水辺の活動におけるKYT（仮管理）・水辺の活動（ボランティア活動の旗）：大洲青少年交流の家職員
カヌーにおける指導の技術・安全管理の方法を学びます。
- (7) [講義] 青少年教育施設って何？（青少年教育施設の職と運営）：大洲青少年交流の家職員
青少年教育施設の教育機能や役割、運営について学びます。
- (8) [説明] 楽しい！交流の家のボランティア活動（青少年教育施設におけるボランティア活動の旗）：法人ボランティア交流の家のボランティア活動について、活動経験のある法人ボランティアから説明を受けます。
- (9) [説明] 法人ボランティアとは（法人ボランティア職制について）：大洲青少年交流の家職員
法人ボランティア制度を理解し、登録手続きの説明を受けます。また、活動に必要な書類の記入をしていただきます。

- 12 申込方法 ホームページの入力フォームまたは二次元コードから次の事項を入力の上、お申込みください。
- 個人情報に関する承諾の有無 ○氏名・ふりがな ○性別 ○生年月日 ○郵便番号
○住所 ○電話番号 ○メールアドレス※ ○所属（学校名） ○学年
○送迎バスの利用の有無 ○保険について ○アレルギーについて ○緊急連絡先
[申込締切]5月15日（金）17:00 まで
- ※ JR松山駅と大洲青少年交流の家の間、JR伊予大洲駅と大洲青少年交流の家の間において送迎を予定しています。送迎時刻については、改めてお知らせします。
- ※ 申込みの受付が完了しますと、メールアドレス宛てに「受付完了」の自動返信メールが届きます。自動返信メールが確実に受信できるよう、メールアドレスを正確に入力してください。また、ozukikaku@niye.go.jpからのメールを受信できるように設定しておいてください。
- ※ 自動返信メールが届かない場合は、0893-24-5176 まで、お問い合わせください。申込期間内に連絡がない場合は申込無効となりますので、ご注意ください。

- 13 その他
- (1) 応募者多数の場合は抽選で参加者を決定し、申込締切り日（5月15日）から1週間以内に、メールで連絡します。また、持参物等は二次案内でお知らせします。
- (2) 申込後、参加できない事態が発生した場合は速やかにご連絡ください。
- (3) 本事業の全ての講座を受講された方に「青少年教育施設ボランティア養成講座修了証」をお渡しします。
- (4) ご不明な点については下記までお問い合わせください。

二次元コードからボランティア活動の様子を見ることができよう！



宛先 〒795-0001 愛媛県大州市北1086
国立大洲青少年交流の家
「ボランティア養成講座」担当：有木園（ありきぞの）
TEL:0893-24-5176 FAX:0893-24-2909
URL:<https://ozu.niye.go.jp> MAIL:ozukikaku@niye.go.jp

